

① 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-51	中学校	国語	国語	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15・三省堂	国語・829		現代の国語2	

1 編修の趣旨および留意点

この教科書は、確かな学力と豊かな心の基盤となる「ことばの力」を身につける学習をとおして、「自己の形成・向上に努め、社会と文化の創造的で主体的な担い手として自ら学び続ける資質・能力を育成すること」を教育理念において編修しています。具現化にあたっては、特に次の3点に留意しました。

1 自ら学ぶ力を育てる
学び方を身につけ、学ぶ楽しさを体験し、主体的に学ぶ意欲を養います。

2 かかわり合う力を育てる
想像力・情緒力・対話を身につけ、他者を尊重し、社会とかかわる力を養います。

3 実践的なことばの力を身につける
確かな知識と技能、豊かな心と思考力にもとづく、文化の担い手としての国語力を身につけます。

2 編修の基本方針

教育基本法に掲げられた目標を達成するために、次の6点を編修の基本方針としています。

1 確かな学力を身につける

●学習の系統性 ●基礎・基本の徹底

学校生活に沿った学習活動が組織できる教材・構成であるとともに、学習の系統性を重視し、それぞれの学年・教材で身につける知識・技能（つきたい力）の重点を明確に示しました。すべての領域の教材は、小学校とのつながりをふまえ、基礎・基本に確実に取り組むことのできるものからスタートし、身につけた力を繰り返し活用しつつ、新たな力を段階的に習得していくことができるように系統的に配列しています。

2 自ら学ぶ力を育てる

●学ぶ意欲と実感 ●見通しと振り返り ●学び方を学ぶ

学習者が確かな目的と見通しをもち、学び方を意識しながら学習に取り組み、その過程を振り返って、達成感と以後の学習に生きる成果を自覚する、という学習の流れを重視しました。「やってみようという意欲」「わかる、できるという実感」を自律的・持続的な学習を支える根幹に位置づけています。興味・関心のもてる文章や作品あるいは題材、わかりやすい学習過程、達成感を感じることでできるゴール、以後の学習に活用できる「学び方を学ぶ」機会と場も含めた振り返りを意識して学習を構成しました。

3 かかわり合う力・豊かな心を育てる

◎ 共同的学习 ◎ 感性・想像力・情緒力

他者とかかわり、集団で考え、話し合い、協働する体験を、人格形成のうえでも、社会を創造的・主体的に形成する学び手を育成するうえにおいても不可欠なものとして捉え、個の学習を保障しつつ、交流・協働する活動をとおして、自己の思いや考えを深めたり、集団として問題解決を図ったりしながら、意見や提案、成果物を協働で創り上げる知識と方法、自他の敬愛と協力を重んずる態度を体験的に学ぶ機会を確保しました。日常生活や現実社会の課題をめぐるものから、防災などのような課題を仮想して行うもの、楽しく創造的に行うものまで、他教科の学習や実社会に生きる力にも対応した豊富な教材をそろえています。また、文学教材においては、他者（家族や友人も含む自分以外の人々）との喜びや悲しみの共有、いたわりや思いやりなどの核となる感性や想像力、豊かな情操と道徳心を培うことに資する優れた作品を教材化しています。

4 現代社会の課題に向き合い、解決する実践力を育てる

◎ 対話・合意形成 ◎ 論理的思考力 ◎ 多様なものの見方や考え方

価値観の多様化、グローバル化、情報化などの時代の動きがもたらす現代社会の課題に、社会の構成員として粘り強く取り組む姿勢を養い、積極的に問題解決にあたるために、対話や合意形成などの具体的方法や考え方、そのために欠かせない論理的な思考力・判断力・表現力に培う教材を開発しました。また、古代から現代、日本および世界、言語・文化・自然・科学・社会・芸術・スポーツなど、幅広く多岐にわたる領域と多角的な視点から捉えたテーマや課題を対象とし、多様で豊かなものの見方や考え方をひらく教材を配列しています。

5 ことばと文化の担い手を育てる

◎ 伝統的な言語文化 ◎ 豊かな言語感覚 ◎ 郷土愛

伝統的な言語文化を重視し、アイデンティティの確立と文化の担い手としての知識と自覚を有するために中学校段階で読んでおきたい作品や触れておきたい言語文化や言語芸能を取りあげて、現代におけるそれらの意味を価値づけしながら、知識と感性の双方から理解と親しみを深め、豊かな言語感覚をはぐくむことができるように教材化しました。取り立て教材の他にも、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」など各領域の学習題材として位置づけ、私たちの生活の中に伝統文化がいかに深く根づいているかを実感し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことができるように、全領域をとおして多様な学習場面・多角的な学習活動を設けています。

6 読書活動・情報リテラシーの充実

◎ 読書の習慣化 ◎ 情報活用力

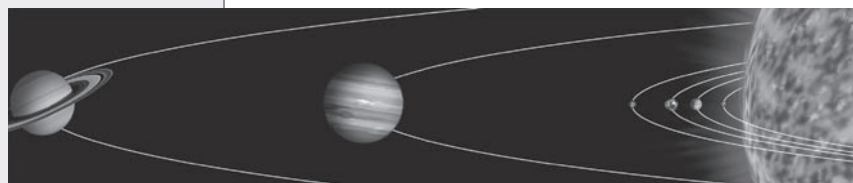
読書活動、情報の収集・選択・発信活動を重視し、図書をはじめとする各種情報に適切にアクセスし、情報を的確に収集・選択・調査・発信する力を身につけることをめざしています。情報リテラシーの必要性や価値を「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の内容や活動をとおして学習するとともに、著作権や引用をはじめとする知識や具体的な方法・技能に関しては、あらゆる場面で活用できるように各学年の資料編にまとめました。また、幅広い知識や確かなものの見方・考え方を身につけるために日頃から読書に親しみ、習慣化するように、それぞれの学習やテーマに関連して読書へ誘うブックガイドや名作コラムなどの他、多様な読書関連活動を実践する場を各所に設けています。

※代表的な教材と教育基本法第2条各号に掲げられた目標との照応は次項「③」に記しました。

3 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について、主な教材を取りあげ、該当ページを示しました。

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)	
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。		
本編	読むこと	詩	名づけられた葉	●人間個々の存在を「ポプラの葉」として捉え、何千何万の葉の一枚にすぎないけれど「誰のまねでもない」美しい生き方を求める詩人のものの見方に会うことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。	14~15
		小説	小さな手袋	●「シホ」と「おばあさん」との温かでせつない交流が描かれた教材を読むことをとおして、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと(第一号)、また、かけがいのない命を尊ぶ態度を養うこと(第四号)をねらいとしています。	18~27
		小説	走れメロス	●友情と信頼をめぐる葛藤、克己、喜怒哀楽などの心の揺れや動きが描かれた作品を読むことをとおして、人間や生き方についての真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとしています(第一号)。	160~176
		短歌	短歌の世界	●我が国固有の言語文化として愛され続けてきた短歌の世界に触れ、そのよさと価値を理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	52~57
		説明	人間は他の星に住むことができるのか	●天文学者たちの探究を記した教材を読むことをとおして、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことをねらいとしています(第一号)。 ●地球が人間にとって貴重な環境であることを論じる教材を読むことをとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。	34~38
		報告	壁に残された伝言	●「被爆の伝言」が発見された経緯、後世の人々の思いや願いを描いたルポルタージュを読むことをとおして、生命を尊ぶ態度を養うこと(第四号)、また、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと(第五号)をねらいとしています。	76~83



説明「人間は他の星に住むことができるのか」より

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	
	談話	達人のことば 1 宮大工 西岡常一 達人のことば 2 彫刻家 外尾悦郎	<ul style="list-style-type: none"> ●法隆寺、サグラダ・ファミリアという世界的な文化遺産の継承と創造に携わる二人の仕事に対する思いや考えに触れることで、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと(第二号)、また、伝統と文化を尊重する態度を養うこと(第五号)をねらいとしています。  <p>談話「達人のことば」より</p>	182～194
	講演録	見えないチカラと キセキ	<ul style="list-style-type: none"> ●視覚障がいを乗り越えてパラリンピックの金メダリストとなった筆者の行動と考えに触れることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うとともに、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことをねらいとしています(第二号)。 	66～72
特質に関する事項	古文	平家物語	<ul style="list-style-type: none"> ●戦いの世に生きる者の非情と慈悲の間で揺れ動く心理を描いた作品を読むことをとおして、豊かな情操と道徳心を培うとともに(第一号)、生命を尊ぶ態度を養うこと(第四号)をねらいとしています。 	108～117
	漢文	漢詩の世界	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国に古くから親しまれている漢詩を読み味わうことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	122～127
書くこと	手紙	わかりやすく、 心をこめて書く	<ul style="list-style-type: none"> ●相手や目的を意識して手紙を書くことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。 	196～199
	主張文	推論と対話で考え を広げる	<ul style="list-style-type: none"> ●防災をテーマにした主張文を書くことで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと(第三号)、また、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと(第四号)をねらいとしています。 	88～93
話すこと・聞くこと	プレゼンテーション	資料や機器を 効果的に活用する	<ul style="list-style-type: none"> ●情報を集め整理し、プレゼンテーションする活動を仲間とともに進めていくことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。 	42～47
	パネルディスカッション	異なる立場や 考えを尊重して	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の施設として何が必要であるかという点について発表し合うことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。 	144～150

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	
資料編	◎幅広い知識を身につけ、自主および自立の精神を養うことに資するものとして、さまざまな学習機会を捉えて繰り返し活用すべき実践的知識や方法とともに、家庭学習を含めた自学自習に役立つ教材を「資料編」としてまとめました(第一号・第二号)。			239~330
	読書の広場	小さな図書館	●「幅広い知識と教養」「真理の探求」「豊かな情操と道徳心」「勤労の精神」「生命や自然」「伝統と文化」「国際社会の平和」などを尊重し涵養するための読書活動を推進することを意図して、48冊の図書をテーマ別に紹介しています(第一号, 第二号, 第三号, 第四号, 第五号)。	240~245
		情報探しのヒント	●日本十進分類法やインターネットの検索方法などを提示し、さまざまな情報源にアクセスし、幅広い知識と教養を身につけたり、真理を求める態度を養ったりすることをねらいとしています(第一号)。	246~247
		歌舞伎の世界	●日本が世界に誇る伝統芸能である歌舞伎の世界を楽しむことをとおして、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	250~251
	考える広場	話し合いの方法を選ぶ	●集団におけるコミュニケーションの方法を学ぶことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	272~273
	参考資料	日本文学名作集	●奈良時代から現代の小説にいたるまで、各時代の代表的な作品やその冒頭を紹介した年表に親しむことをとおして、伝統と文化を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	282~285
「読み方を学ぼう」一覧		●読みの方略を学ぶことをとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。	325~330 (折り込み)	

4 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての学習者が学習しやすい紙面づくり

- カラーユニバーサルデザイン、ならびに特別支援教育の専門家の指導と校閲のもと、識別しにくい配色は避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。また、色の濃淡や野線などの工夫を凝らすことで、誰もが使いやすい教科書となるように配慮しました。

環境にやさしい教科書

- 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-51	中学校	国語	国語	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15・三省堂	国語・829		現代の国語2	

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 「つきたい力」の明確化

◎学習の見通しと振り返りの重視

3領域のすべての教材の冒頭に「つきたい力」として学習目標を提示し、教材の最後には学習を振り返る機会を設けています。身についた力を自分で診断・評価し、次に生かすしくみです。

◎段階的・系統的な配列

学習指導要領の指導事項をふまえて、学習の系統化を図り、基礎・基本を段階的に、確実に習得できるようにしています。「読むこと」の教材の「学びの道しるべ」¹では、丁寧かつ簡潔に学習のプロセスを示しました。

2 「学び方」を学ぶ

◎読みのストラテジー（「読み方を学ぼう」²）

「何をどのように読めば力がつくのか」という読みの方略を、図解で示しました。他教材や自主的な読書、表現活動などで繰り返し活用することができる全17の方略を3学年で配置しています。

▶「象徴」(p30)、「例示」(p141)、「視点人物」(p178)など

◎共同的問題解決のための思考と方法

日常生活や現代社会における課題を取りあげ、集団で考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。シミュレーション（モデルを使った実験）などの活動を組み入れるなど、生きて働くことばの力の習得に力を入れています。

▶分類・比較・推論などの思考法（p40/p86/p140）、質問や対話による意見の構築や合意形成（p88/p144）など

3 主体的な学びを促す

◎学びの意欲の創出

知る喜びやわかる楽しさ、達成感もてるよう、学習者の知的好奇心や探究心を喚起する文章・題材を選定する、学習のポイントを「見える化」する、対話や話し合いなどの共同的な言語活動の場を適切に設けるなどの工夫をしています。「やってみよう」「できた、わかった」という実感や仲間とともに学ぶ楽しさが体感できます。

◎伝統的な言語文化

日本の伝統的な言語文化として代表的な文章を、写真や絵巻とともに提示するなど、学習者の興味・関心に配慮しています。3年間をとおして基礎的な知識・教養を身につけ、生涯にわたりそれらに親しみ、学び続ける心をはぐくみます。

◎学びやすく、教えやすいよう次の点を大切にしています。

- 小学校と中学校の接続に配慮した導入
- 学習者の発達段階や学校生活・日常生活のリズムに配慮し、自然な流れで年間指導計画ができる教材配列
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域のバランスや関連性を考慮した単元構成

▶1 「学びの道しるべ」の構造（「読むこと」）

学習目標の再提示

1 内容を整理しよう

情報の整理と確認
個・共同の学び

2 考えを深めよう

解釈や評価
共同の学び

● 学びをひろげよう

多様な言語活動

振り返りの機会

(身についた力の確認)

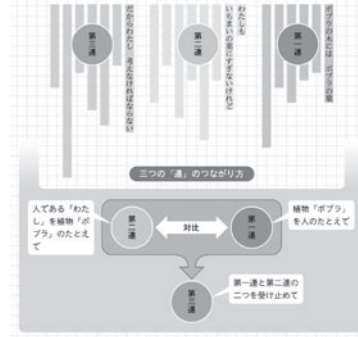
▶2 「読み方を学ぼう」の一覧

1年	2年	3年
① 説明文の基本構造	① 詩の構成	① 隠された意味
② 人物相関図	② 象徴	② 対比
③ 図表と文章	③ 段落の大中小	③ 回想
④ 三角ロジック	④ 物語の転換点	④ 小見出し
⑤ 語り手	⑤ 例示	⑤ 人物設定
⑥ 情景描写	⑥ 視点人物	

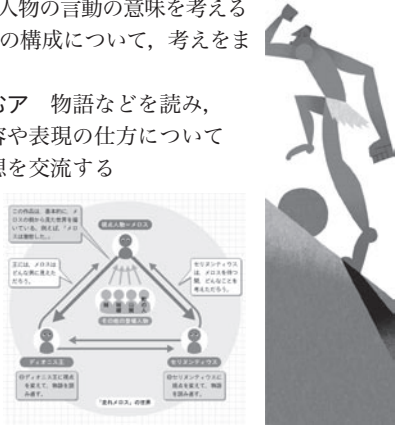

それぞれの方略は読むことの教材の中でしっかり身につくように「学びの道しるべ」とも関連づけています。

2 対照表

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
学びの扉をひらく	詩	名づけられた葉 (新川和江)	●読むウ 詩の構成や展開について自分の考えをまとめる [言語活動] 読むア 詩歌を読み感想を交流する	14~16	2
	読み方を学ぼう①	【詩の構成】 気持ちを揺さぶる仕掛け	*読み方を学ぼう ①の紙面(一部)	17	
	小説	小さな手袋 (内海隆一郎)	●読むイ 登場人物の言動の意味を考える ●読むエ ものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ [言語活動] 読むア 物語などを読み感想を交流する	18~29	4
	読み方を学ぼう②	【象徴】 そこには何かが詰まっている		30	
	ことば発見 1	類義語・対義語, 多義語	●伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(以下「伝国」)イ(イ) 類義語と対義語, 多義的な意味を表す語句などについて理解し, 語彙を豊かにする	31	1
1 情報を読み解く	説明	人間は他の星に住むことができるのか (渡部潤一)	●読むイ 抽象的な概念を表す語句に注意して読む ●読むウ 全体と部分の関係などを考え, 内容の理解に役立てる [言語活動] 読むイ 説明の文章を読み, 内容や表現の仕方について自分の考えを述べる	34~40	4
	読み方を学ぼう③	【段落の大中小】 まとまりを探せ!		41	
	話す・聞く	資料や機器を効果的に活用する (プレゼンテーション)	●話す・聞くイ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ, 論理的な構成を考えて話す ●話す・聞くウ 資料や機器などを効果的に活用して話す [言語活動] 話す・聞くア 調べてわかったことをなどに基づいて発表をしたり, それを聞いて意見を述べたりする	42~47	5
	漢字のしくみ 1	熟語の構成・熟字訓	●伝国ウ(ア) 常用漢字を読む	48~49	1
2 ことばを磨く	短歌	短歌の世界 (俵万智)	●読むア 心情を表す語句に注意して読む ●読むウ 表現の仕方について, 根拠を明確にして自分の考えをまとめる [言語活動] 読むア 詩歌などを読み, 内容や表現の仕方について感想を交流する	52~55	3
		短歌十首		56~59	
	書く	読みたいくなるしくみを工夫する (創作文)	●書くウ 事実や事柄, 意見や心情が相手に効果的に伝わるように, 説明や具体例を加えたり, 描写を工夫したりして書く ●書くオ 書いた文章を互いに読み合い, 文章の構成や材料の活用の仕方などについて, 意見を述べたり助言をしたりして, 自分の考えを広げる [言語活動] 書くア 表現の工夫を工夫して, 物語などを書く	60~63	7
	文法のまど 1	用言の活用	●伝国イ(エ) 単語の活用について理解する	64	1



		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
2 ことばを磨く	読書・講演録	見えないチカラとキセキ (浦田理恵・竹内由美)	●読むオ 多様な方法で選んだ本から情報を得て、自分の考えをまとめる ●書くウ 意見や心情が相手に効果的に伝わるように書く [言語活動] 読むウ 学校図書館等を活用して得た情報を比較する	66～73	2
	読書活動	本の帯・ポップづくり		74	
3 視野を広げる	報告	壁に残された伝言 (井上恭介)	●読むエ 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ [言語活動] 読むイ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる	76～85	4
	コラム	インタビューで「きく」ということ		86	
	漢字のしくみ2	熟語の読み	●伝国イ(イ) 同音異義語などについて理解し、語感を磨く	87	1
	書く	推論と対話で考えを広げる (主張文)	●書くイ 立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、構成を工夫する ●書くオ 文章を互いに読み合い、構成や材料の活用の仕方などについて、意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げる [言語活動] 書くイ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く	88～93	7
古典に学ぶ	古文	枕草子・徒然草	●読むエ ものの見方や考え方について、知識や経験と関連付けて自分の考えをもつ ●伝国ア(イ) 登場人物や筆者の思いなどを想像する	96～105	4
	書く	表現ブラザ1 「超訳」に挑戦	●書くウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書く	106～107	3
	古文	平家物語	●読むイ 描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる ●伝国ア(ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむ	108～118	4
	読み方を学ぼう④	【物語の転換点】 予想外の曲がり角		119	
	コラム	あの人の歌		120～121	
	漢文	漢詩の世界	●伝国ア(ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむ ●伝国ア(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像する	122～125	3
古典情報	漢詩の形式		126～127		
4 分析的に考える	評論	動物園でできること (奥山英登)	●読むイ 全体と部分の関係、例示の効果などを考えて内容の理解に役立てる ●読むエ ものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ [言語活動] 読むイ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる	130～140	4
	読み方を学ぼう⑤	【例示】 「なるほど！」と言わせたい		141	
	ことば発見2	方言と共通語	●伝国イ(ア) 共通語と方言の果たす役割について理解する	142～143	1

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
4 分析的に考える	話す・聞く	異なる立場や考えを尊重して (パネルディスカッション)	<ul style="list-style-type: none"> ●話す・聞くア 社会生活の中から話題を決め、材料を集め整理する ●話す・聞くエ 話の構成に注意して聞き、自分の考えと比較する ●話す・聞くオ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げる [言語活動] 話す・聞くイ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行う	144～150	5
	文法のまど 2	助詞・助動詞	●伝国イ(エ) 助詞や助動詞などの働きに注意する	151	1
5 読みを深め合う	詩	大阿蘇 (三好達治)	<ul style="list-style-type: none"> ●読むイ 描写の効果を考え、内容の理解に役立てる [言語活動] 読むア 詩歌を読み、内容や表現の仕方について感想を交流する	154～156	2
	ことば発見 3	敬語の意味と種類	●伝国イ(ア) 敬語の働きについて理解する	157～159	2
	小説	走れメロス (太宰治)	<ul style="list-style-type: none"> ●読むイ 登場人物の言動の意味を考える ●読むウ 文章の構成について、考えをまとめる [言語活動] 読むア 物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流する	160～177	4
	読み方を学ぼう⑥	【視点人物】 世界が違って見えてくる	*読み方を学ぼう⑥の紙面(一部) 	178	
コラム	太宰治の世界		179		
6 思いを伝える	談話	達人のことば 1 宮大工 西岡常一 達人のことば 2 彫刻家 外尾悦郎	●読むエ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や経験と関連付けて自分の考えをもつ	182～195	4
	書く	わかりやすく、心をこめて書く (手紙)	<ul style="list-style-type: none"> ●書くイ 自分の立場及び伝えたい事柄を明確にして、文章の構成を工夫する ●書くエ 文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする [言語活動] 書くウ 社会生活に必要な手紙を書く	196～199	5
	話す・聞く	表現プラザ 2 対話劇を体験しよう	●話す・聞くオ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げる	200～201	3
7 つながりを考える	小説	ポテト・スープが大好きな猫 (テリー＝ファリッシュ [訳] 村上春樹)	<ul style="list-style-type: none"> ●読むア 心情を表す語句に注意して読む ●読むイ 登場人物の言動の意味を考える [言語活動] 読むア 物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流する	204～214	4
	コラム	海外文学の世界		215	
	話す・聞く/書く	ふるさとを見つめ直す (地域情報誌)	<ul style="list-style-type: none"> ●話す・聞くオ 目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げる ●書くア 多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめる 	216～220	9

		図書の構成・内容 [教材名]	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数	
7	歌のことば	あとひとつ		222～223		
		文法のまとめ	●伝国イ(ウ) 文の成分の順序や照応、文の構成などについて考える ●伝国イ(エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意する	224～238	1	
資料編	①読書の広場	読書ガイダンス 小さな図書館	◎幅広い読書への誘いと情報活用のヒントを示し、読書に親しむ態度の育成や情報機器の活用を図っている。	240～245	10	
		読書ガイダンス 情報探しのヒント		246～247		
		読書ガイダンス 情報活用のヒント		248～249		
		見て楽しむ 歌舞伎の世界		250～251		
		声に出して読む 歌舞伎 外郎売		252～255		
		古典を楽しむ 枕草子 (清少納言)		256～257		
		古典を楽しむ 徒然草 (兼好法師)		258～259		
	②考える広場	読む力を伸ばそう 水田のしくみを探る (岡崎稔)	◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習や、他教科の学習、日常生活における言語活動を支える学びの方法を整理し、国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成や、伝え合う力を高めることを図っている。	260～265		
		学ぶ力を高めよう 方法1 さまざまな思考方法を使う		266～267		
		学ぶ力を高めよう 方法2 メモを活用する		268～269		
		学ぶ力を高めよう 方法3 インタビューをする		270		
		学ぶ力を高めよう 方法4 アンケートをとる		271		
		学ぶ力を高めよう 方法5 話し合いの方法を選ぶ		272～273		
		学ぶ力を高めよう 方法6 図表(表やグラフ)を使う		274		
		学ぶ力を高めよう 方法7 辞典を活用する		275		
		③参考資料		数字の書き表し方	◎国語科の学習を効果的に進める上で役立つ知識を整理して示し、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度の育成を図っている。	276
				手紙・はがき・メールの書き方		277
	点字と手話		278			
	原稿用紙の使い方		279			
	推敲の仕方と観点		280			
五十音とローマ字	281					
日本文学名作集	282～285					
学習用語辞典	286～291					
二年生で学ぶ漢字字典	292～306					
都道府県名の一覧	307					
二年生で学ぶ音訓	308					
小学校六年生で学習した漢字	309					
常用漢字表音訓一覧	310～322					
常用漢字表付表	323					
アルバムディクショナリー	324					
折り込み	「読み方を学ぼう」一覧					
				計	120	

※新出漢字については、「読むこと」教材の中で学習するとともに、年間を通してバランスよく学習できるよう、漢字の取り立て教材「漢字を身につけよう」を各単元に年間9箇所(各1時間)配置した。